

乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報

(小児科定点、インフルエンザ定点)

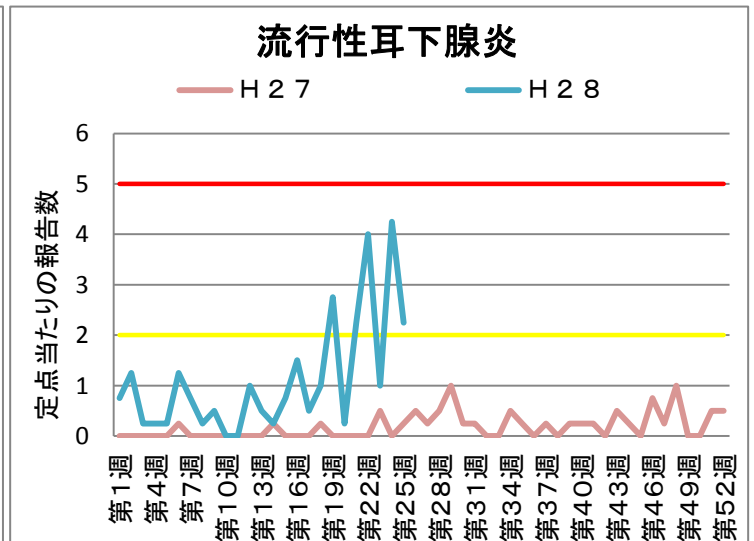
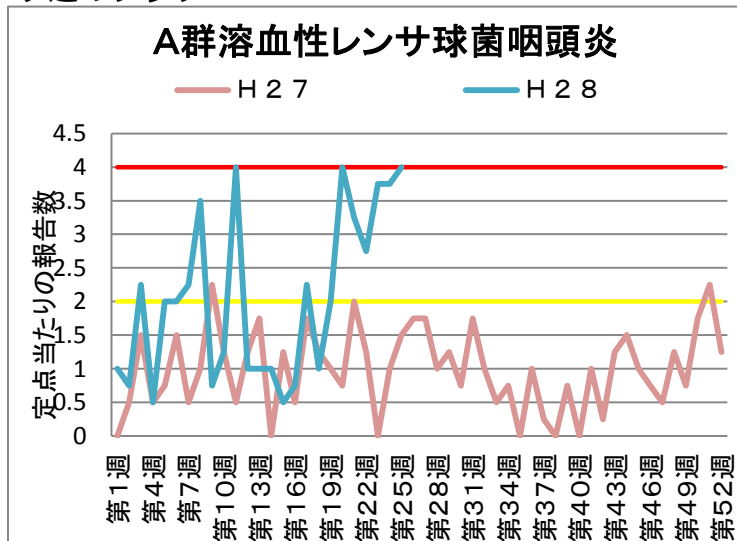
第 25 週 平成28年6月20日 ～ 平成28年6月26日

今週のコメント

○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告が再増加しています(定点当たり4.0件)。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は主に飛沫感染し、1～3日の潜伏期間の後、咽頭痛・発熱にて発症し、その後、発疹がみられます。診断された場合は、医師に指示された期間、抗生物質を内服することが大切です。

○流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の報告はやや減少しました(定点当たり4.25件)が、保育所・幼稚園の欠席者情報収集システムでは今週(6/27～)に入ってから継続してみられており注意が必要です。通常は1～2週間で軽快しますが、無菌性髄膜炎、脳炎、難聴、膵炎などの合併症を起こす場合があります。効果的な予防方法はワクチン接種です。

今週のグラフ



* 赤線は流行警報基準値です 黄線は警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	-	手足口病	2
RSウイルス感染症	-	伝染性紅斑	0.25
咽頭結膜熱	0.75	突発性発しん	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	百日咳	-
感染性胃腸炎	7	ヘルパンギーナ	1
水痘	0.75	流行性耳下腺炎	2.25

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

参考資料等

報告週対応表

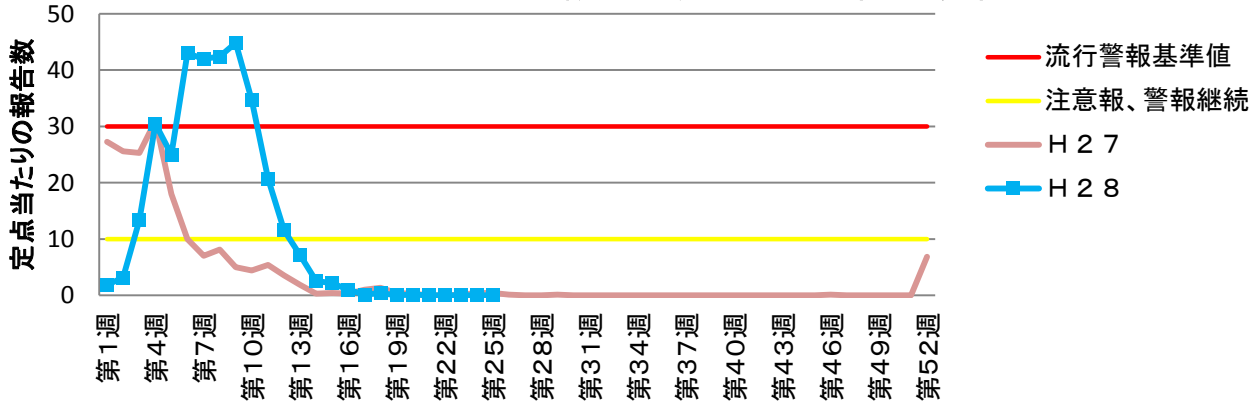
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

警報・注意報基準値の説明

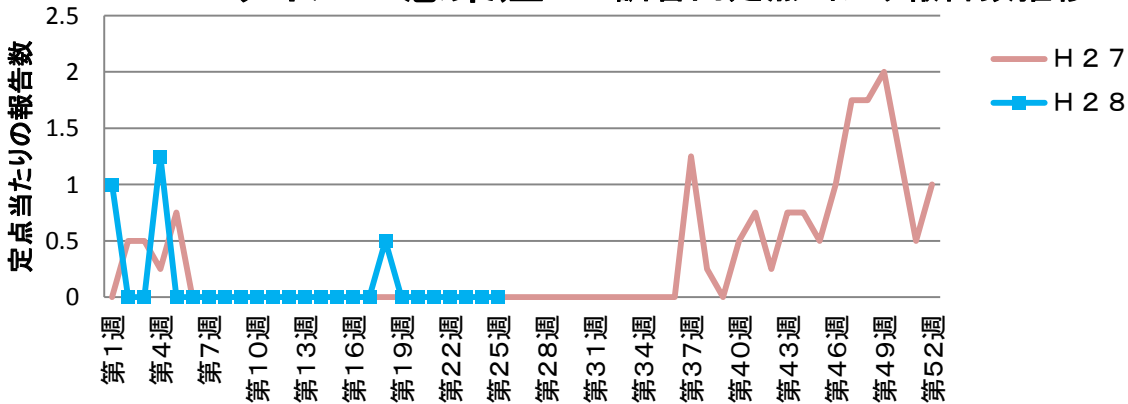
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide03.html>

定点報告による各疾病の推移

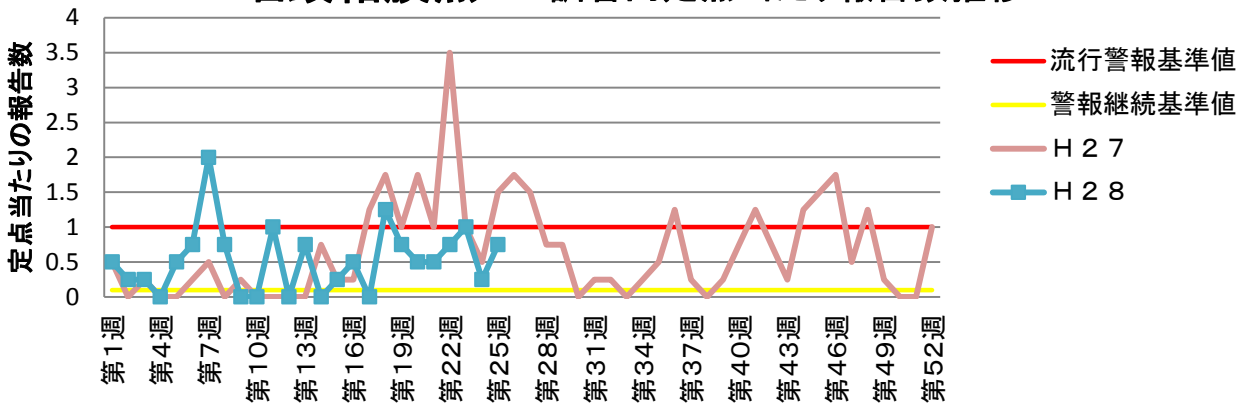
インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



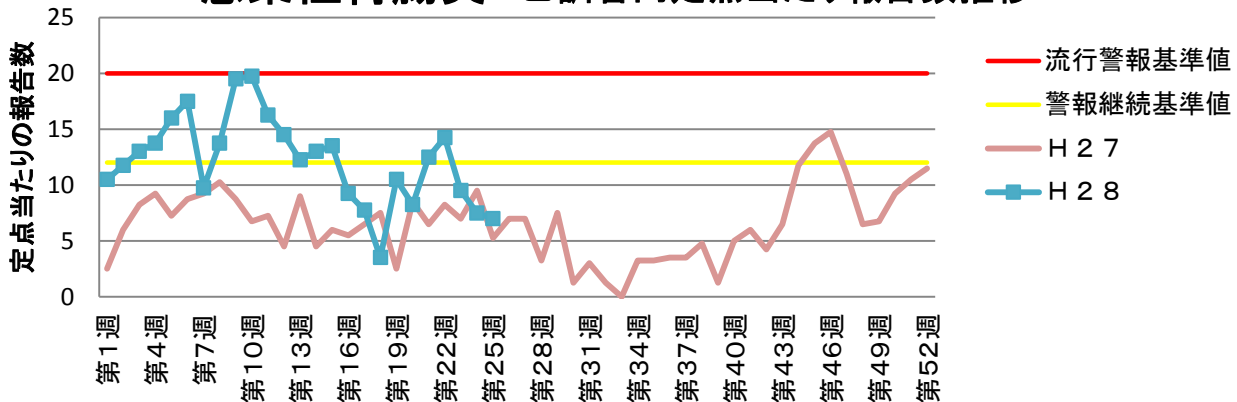
RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



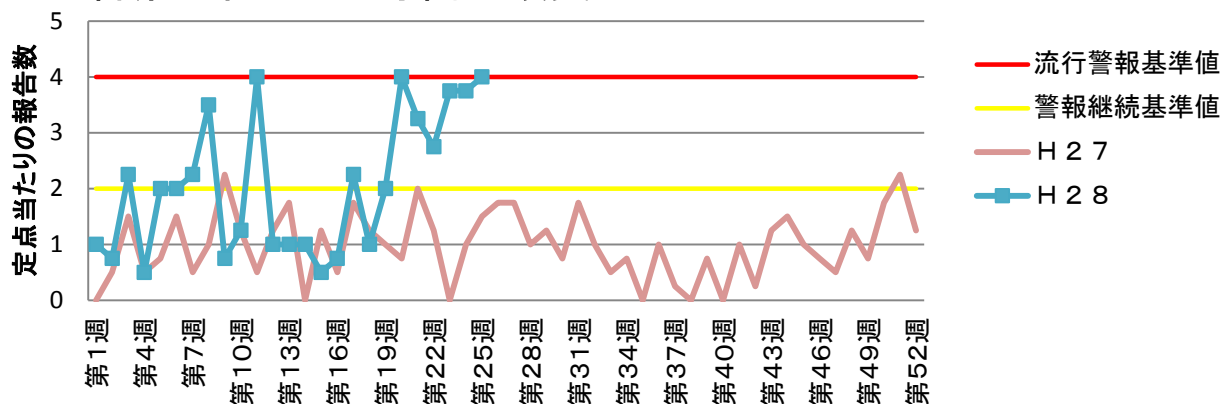
咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



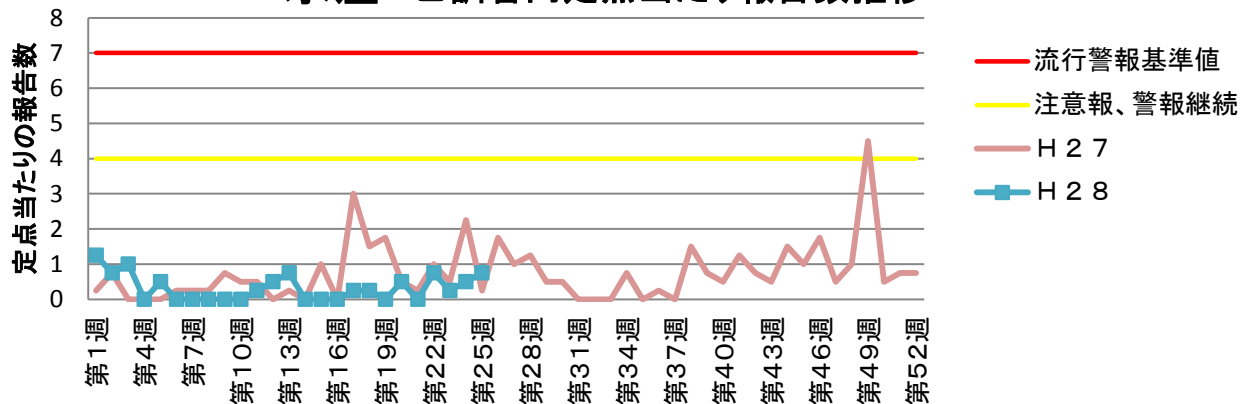
感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



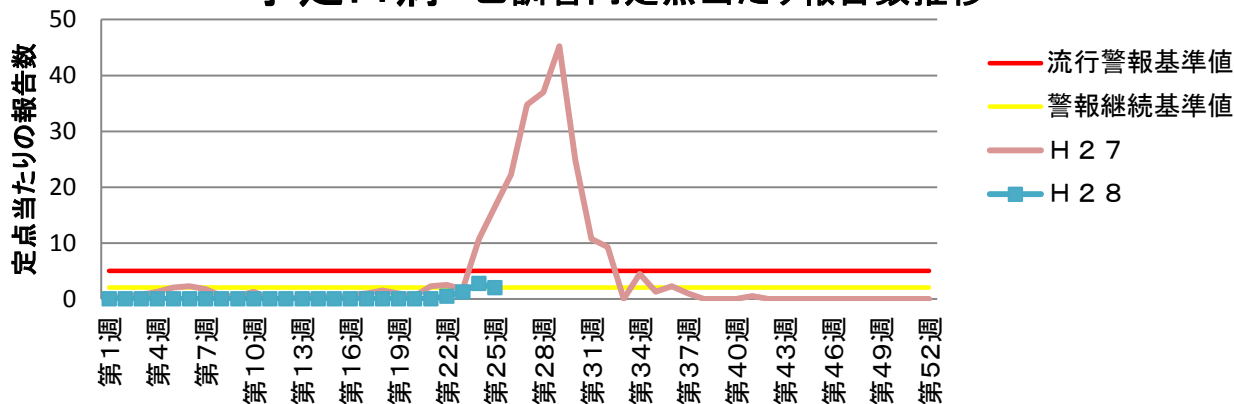
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



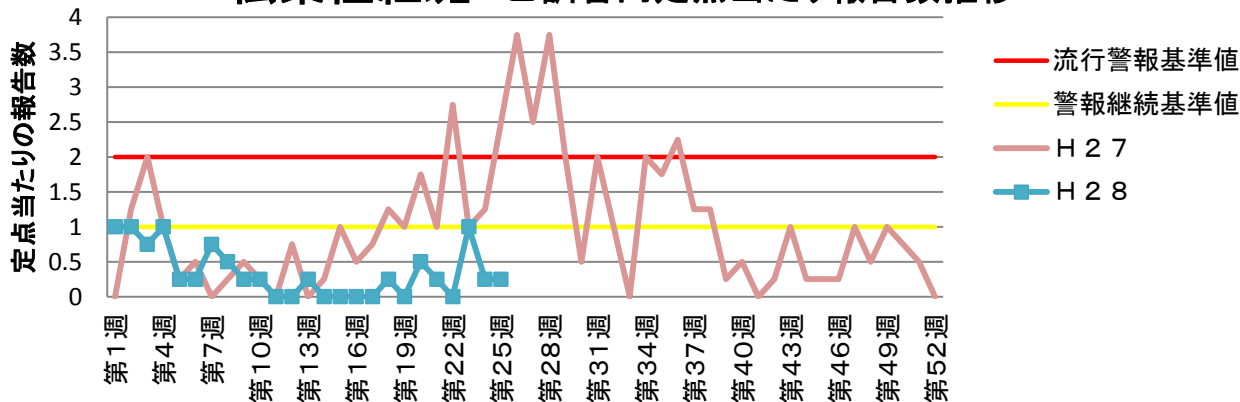
水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



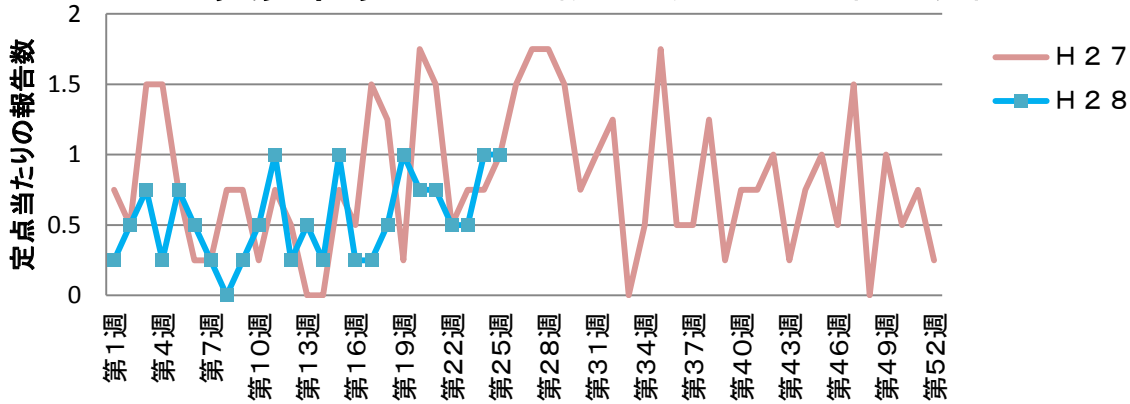
手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



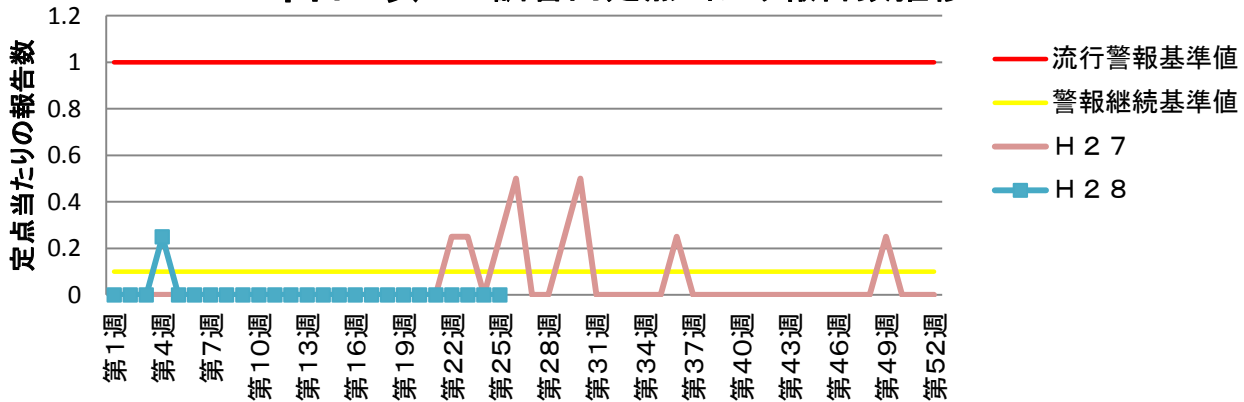
伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



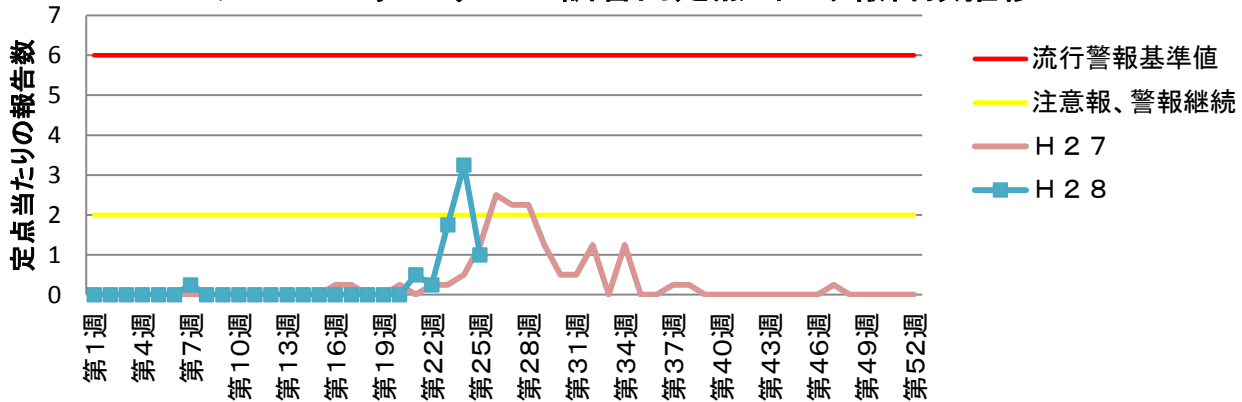
突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

